

# 葦工 ニュース

山梨県立葦崎工業高等学校 広報部  
第26号 2006.12.28

ロボコン山梨2006で活躍  
レスリング部市川君 アメリカ遠征へ  
コンテスト入賞 写真部加賀美君

今年後半に活躍し県内の試合およびコンテストで上位入賞した、葦工生が山梨日々新聞に掲載されました。数多くの  
中から3つの記事に注目してみました。

**HOT LINE**  
葦崎工高3年の渡辺恭平さんと内藤航さんが製作した自走型ロボット「葦工マウス」は、ネズミをイメージした外見のかわいさがポイントという変わり種。実力も兼ね備える。11月に開かれた「ロボコンやまなし2006」の高校生部門Ⅱ「自走型角棒倒し競技」では、見事優勝を果たした。

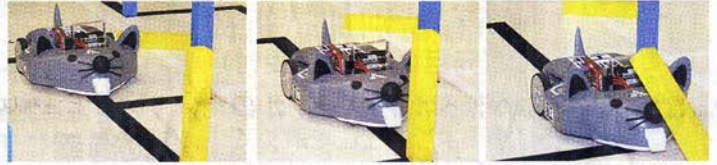
競技は、コートのラインをセンサーで読み取りながら自らの判断でロボットを製作し、制限時間内にコート内の24本の角柱を何本倒せるかを競う。外装は無関係。中身がむき出しのロボットがほとんどだが、二人は違った。「ロボットが動く姿からネズミをイメージした」（内藤さん）「見た目に凝った。かわいさは一番」（渡辺さん）とこだわった。

規定の縦、横ともに30センチ以内の大きさで形を作り、ペンキで着色して仕上げた。プログラミングやスピードの計



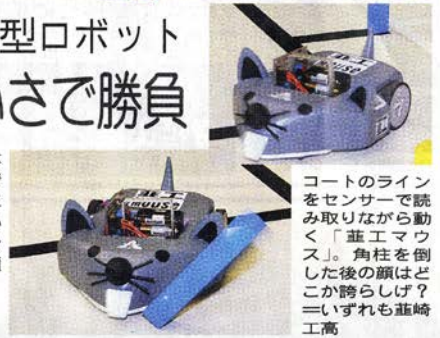
葦工マウスを製作した渡辺恭平さん（右）と内藤航さん

算なども苦心したそうだが、一番手がかったのは「外装」と言う。決勝は同じ葦崎工高の情報技術部と対戦。13本目で倒れた棒に引っかかり停止。相手もいったん止まったが復帰。



## 葦崎工生の自走型ロボット 実力<sup>プラス</sup>かわいさで勝負

熱戦となったが、制限時間がきて2本差で逃げ切った。内藤さんは「練習では一度も全部倒せなかったのが優勝に驚いた」、渡辺さんは「しっかり動いてくれる姿がうれしかった」と、中身にも外見にも愛情を込めたマウスの頑張り感謝している。



コートのラインをセンサーで読み取りながら動く「葦工マウス」。角柱を倒した後の顔は？ここ誇らしげ？いづれも葦崎工高

今回のロボコン2006では自走型ロボットと対戦型ロボットに20チーム以上が参加し自走型部門では上位を独占した。対戦型ロボットでは僅差で惜敗したが見事準優勝を納めた。

2007年1月3日よりアメリカオレゴン州に海外遠征に出かける市川君。初の遠征で気合い十分。スピードと技の切れで自身のレスリングに磨きをかけてもらいたい。

### (13) スポーツ 2版

(第三種郵便物認可)

山梨 日

レスリングの全国高校米国遠征オレゴン州1月3〜17日メンバーに葦崎工高3年の市川裕貴選手が選ばれた。初の海外遠征に向け市川は「海外の選手に勝つたい」と意気を見せている。身長170センチ、体重90キログラム。84キログラムの小柄のためスピードを生かして動き回り、両足タックルで相手を崩してポイントを取るパターンを得意とする。相手手よりも速く、自分自身も勝つことに、競技の魅力を感じている。

葦崎東中時代は柔道部。同じ部の先輩だった倉谷修平（現日本代表）の活躍を見て、葦崎工高レスリング部の門をたたいた。「倉谷さんはあのうしろの選手。自分も先輩のようになりたいと練習してきた。やめたかと思ってもあるが、仲間との支えと励ましで続けて

## 市川(葦崎)全国高校米国遠征へ スピード、技で勝負

レスリング

「これだ」と話す。最上級生となり、主将も務めた。6月の関東大会グレコローマンスタイル84キログラム級で初優勝。「後輩のお手本になれるように」と、まじめに一生懸命（文田敏郎監督）に練習に取り組み、チームをまとめた。

選征ではホームステイをしながら練習会や大会に参加する。昨年、今年と日本代表候補生として米国に留学し、高松生大会で来日した米国の高校生と対戦して、「パワーはあるが、スピードや技は日本の方が上なので勝りたい」と目を輝かせる。

卒業後は就職するため、選手生活はひと区切り。後輩や子どもたちの指導にあたりたいという文田監督は「遠征メンバーには選ばれたチャンスを生かして、いい勉強をしてほしい」と期待している。



初の海外遠征へ向けて練習に励む市川裕貴（葦崎工）

「山梨ティーンズメッセージ」写真部門で最優秀賞を受賞した2年生加賀美君作品は「四弦奏者」モノクロ写真でベースを演奏する手元が写っている作品。作者本人もバンドのメンバーであり、写真部の部長も務めている。来年1月山梨で開催される関東地区写真展にも出品し、8月に行われる全国総合文化祭島根大会の出場も決定している。卒業まであと1年頑張ってもらいたい。

今年1年葦工ニュースをご愛読していただきありがとうございます。  
来年もよろしくお祈りします。  
(資料提供山梨日々新聞社)

URL <http://www.kai.ed.jp/niraith/>  
e-mail [info@nirasakith.kai.ed.jp](mailto:info@nirasakith.kai.ed.jp)

### 顔

「やまなしティーンズメッセージ2006」写真の部で最優秀賞を受賞した加賀美 悠二郎さん

かがみ ゆうじろうさん 2年 甲斐市市立中、17歳

#### 自分の学校生活イメージ

入りの本格的なカメラを使った。一、二枚の本を、友達や部活のメンバーに勧めた。そして、その存在を認めてくれた。それは、自分にとって大きな励みになった。そして、その存在を認めてくれた。それは、自分にとって大きな励みになった。そして、その存在を認めてくれた。それは、自分にとって大きな励みになった。

自分の学校生活イメージは、自分自身の手で撮った写真。それは、自分にとって大きな励みになった。そして、その存在を認めてくれた。それは、自分にとって大きな励みになった。そして、その存在を認めてくれた。それは、自分にとって大きな励みになった。